

第13回日本結節性硬化症学会学術総会

プログラム・抄録集

テーマ

明日を拓く

【会期】

2025年9月7日（日）

【会場】

名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟A 3階講堂

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65

【会長】

奥村 彰久

愛知医科大学 医学部 小児科学

【副会長】

藤本 礼尚

獨協医科大学 脳神経外科

夏目 淳

名古屋大学大学院医学系研究科 障害児（者）医療学寄附講座

第13回日本結節性硬化症学会学術総会開催にあたって

第13回日本結節性硬化症学会学術総会

会長 奥村 彰久

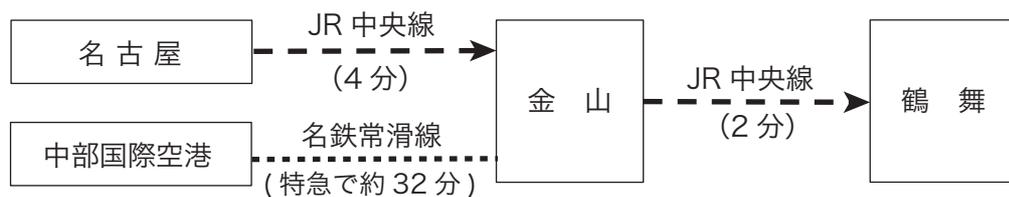
愛知医科大学 医学部 小児科学

この度、第13回日本結節性硬化症学会学術総会の会長を拝命しました、愛知医科大学医学部小児科学講座の奥村彰久です。今年度の学術総会は、2025年9月7日（日）に名古屋大学医学部附属病院（愛知県名古屋市）にて開催します。昨年度に引き続いて愛知県での開催になります。ハイブリッド開催といたしますので、名古屋までお越しいただくのが難しい方もオンラインでご参加いただけます。

皆様ご存じのように、結節性硬化症は過誤腫の発生を特徴とする遺伝性疾患であり、全身の様々な臓器に腫瘍を形成するため脳・腎・心・肺・皮膚などに様々な症状が発現します。これらの症状は、患者さんの生涯にわたって発現するため、小児期から成人期、老年期にいたるまで継続的な医療が必要です。現在では遺伝子変異に対応した薬剤の投与が可能となり、長期生存も可能となってきました。しかしながら、未だ多くの課題が残されています。日本結節性硬化症学会は、医療従事者のみならず患者さんやその保護者やご家族とともに、結節性硬化症に関する諸問題に取り組んできました。

今回の学術総会のテーマは「明日を拓く」としました。結節性硬化症の今後の課題を考えそれにどのように取り組んでいくかを、医療従事者と患者さんやその保護者やご家族の皆様とともに話し合う場として提供したいと考えております。会場の名古屋大学医学部附属病院は、JR名古屋駅から中央線で2駅の鶴舞駅の目の前にあり、アクセスは良好です。ハイブリッド開催ではありますが、ぜひ会場に足をお運び頂き、直接交流を深めていただきたいと思います。

交通のご案内



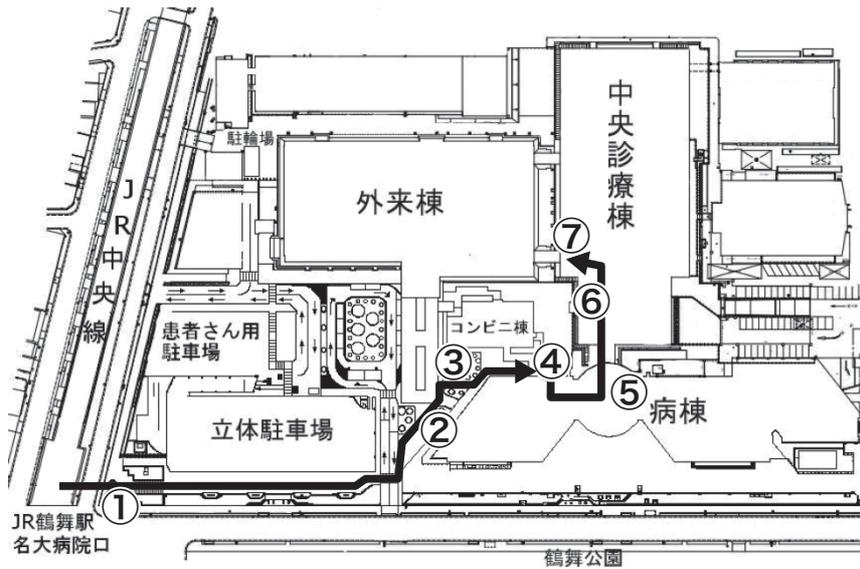
(JR 中央線・鶴舞駅 名大病院口側から徒歩 3分)

会場のご案内

名古屋大学医学部・大学院医学系研究科 —鶴舞キャンパスマップ—

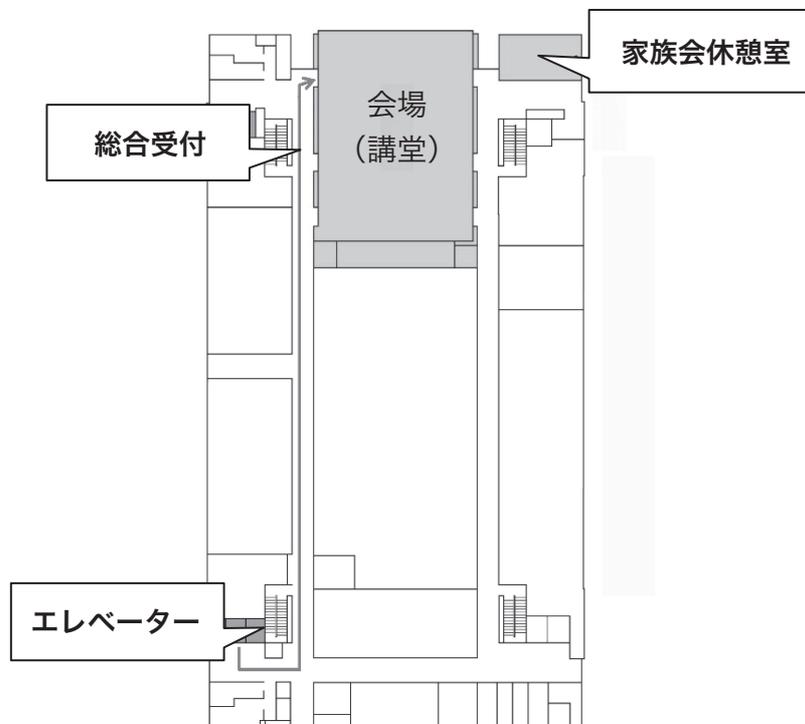


【室内案内図】



1. 時間外出入口 (④) から建物に入り、「学会に参加する」と守衛室スタッフにお伝えください。
2. 病棟エレベータ (⑤) を通り過ぎて、中央診療棟エレベーター (⑦) で3階にあがってください。
3. 案内に沿って廊下を進み、総合受付でお名前をお申し出ください。

【3階案内図】



※車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。学会として駐車券の発行等はいたしませんので予めご了承ください。

参加者へのご案内

1. 開催形式

令和7年9月7日（日）ハイブリッド開催（現地開催・ウェビナー開催）

2. 参加登録

受付は、オンライン参加登録のみとなります。

学術総会ホームページ（<https://marobon.jp/13jstsc/index.html>）より、オンライン参加登録をお願いいたします。「事前参加申込」ボタンより必要事項をご記入いただき、ご登録ください。

学会当日現地では現金での参加登録は受け付けておりません。

参加費：現地参加 5,000円、web参加 3,000円

参加募集期間：2025年6月28日～2025年9月7日

お支払い方法：カード決済



<オンライン参加登録はこちら>

3. 参加証および領収証について

当日、総合受付にて、参加証をお渡しいたします。受付にて、お名前をお申し出ください。

領収書はカード決済の自動返信メールに記載の領収書ダウンロード用URLからダウンロードしてご利用ください。

4. 共催セミナー・ランチョンセミナーへのご参加

共催セミナー・ランチョンセミナーは患者さんやご家族の聴講はできません。

ランチョンセミナーではお弁当を用意しております。ただし、数に限りがございますのであらかじめご了承ください（整理券の配布はございません）。

患者さんやご家族はランチョンセミナーは聴講できませんが、お弁当は用意しております。

5. 交通機関

公共交通機関をご利用ください。詳細は2ページにてご案内しております。

6. 大会事務局

愛知医科大学医学部 小児科

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1-1

ご登壇者へのご案内

1. 座長の先生へ

ご担当セッションの開始10分前までに、会場前方の時座長席にご着席ください。
セッションの時間厳守にご協力をお願いいたします。

2. 発表者の方へ

◆発表データについて

- ・口頭発表はすべてPC発表 (PowerPoint) のみといたします。
- ・発表データは、Windows版 PowerPoint 2019か365のバージョンで作成してください。
- ・レイアウトは16:9を推奨します (会場のスクリーンがワイドサイズです)。
- ・作成に使用されたPC以外でも必ず動作確認を行っていただき、USBフラッシュメモリーに保存したものを
ご持参ください。
- ・文字化け、レイアウト崩れを防ぐため下記のフォントを推奨いたします。
MSゴシック, MS Pゴシック, MS 明朝, MS P明朝, Arial, Century, Gothic, Times New Roman
- ・発表データは学会終了後、事務局で責任をもって消去いたします。
- ・発表時間は、以下の通りです。時間厳守でお願いします
 - ◇一般演題：発表6分、質疑応答3分
 - ◇康本徳守記念結節性硬化症関連神経難病研究基金
受給者講演：発表8分、質疑応答4分

◆PCお持込について

- ・Macintoshで作成したものと動画を含む場合は、必ずご自身のPC本体をお持込みください。
- ・会場で用意するPCケーブルコネクタの形状は、HDMIです。
- ・この出力端子をもつPCをご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ず
ご持参ください。
- ・電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。
- ・スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。

◆発表時の注意

- ・PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。
- ・舞台上には、スライド操作ボタン (「送り」「戻り」)、マウスをご用意します。演台に上がると最初のス
ライドが表示されますので、その後の操作は各自で行ってください。
- ・映写用コンピュータのマウスカーソルに色を付けひと回り大きくしてありますので、レーザーポイン
ター代わりにお使いいただけます。

◆演題発表時の利益相反（COI）について

2021年5月の理事会審議によって、発表演題に関する利益相反（COI）の開示が義務付けられました。以下の掲載をご参照いただき、ご対応くださいますようお願いいたします。

対 象：筆頭および共同発表者【但し患者・家族は除く】

開示期間：演題応募の過去3年間

（例：2025年の演題応募 → 開示期間2022年1月1日～2024年12月31日）

開示基準：学会ホームページの「一般演題募集」「指定演題募集」または下記サイトをご参照ください。

https://www.p-forest.co.jp/12jstsc/jstsc_coi_kijun.pdf

開示方法：利益相反の有無にかかわらず、利益相反（COI）状態の有無を発表スライドの2枚目（1枚目は演題・氏名・所属）に掲載してください。

- ・開示の様式見本は学会ホームページの「一般演題募集」「指定演題募集」よりダウンロードしてください。

日程表

| 名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟A 3階講堂 | |
|--------------------------|--|
| 8:00 | |
| 9:00 | 9:00 受付開始 |
| | 9:30~9:40 開会式 |
| 10:00 | 9:40~10:40 Lennox-Gastaut 症候群の診断・治療法 - 結節性硬化症の併発に着目して - 演者：岡西 徹 共催：日本新薬株式会社 |
| | 休憩 |
| 11:00 | 10:50~11:50 脳内ネットワークから読み解く、てんかん外科治療のこれから —根治から緩和まで 多様化する治療戦略— 演者：石崎 友崇 共催：日本メドトロニック株式会社 |
| | 休憩 |
| 12:00 | 12:00~13:00 ランチョンセミナー TSC-AML に対する新たな治療選択 凍結療法について 演者：波多野 孝史、柏木 英志 共催：ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 |
| 13:00 | 休憩 |
| | 総会 |
| 14:00 | 13:30~14:30 ファミリー企画 iPS 細胞を用いた腎臓の難病に対する新しい治療薬の開発 演者：長船 健二 |
| | 休憩 |
| 15:00 | 14:40~15:40 康本徳守記念結節性硬化症関連神経難病研究基金 受給者講演 |
| | 休憩 |
| 16:00 | 15:50~17:20 一般演題 |
| 17:00 | 閉会式 |
| 18:00 | |

プログラム

開会式

共催セミナー1 9:40～10:40

日本新薬株式会社

座長：奥村 彰久（愛知医科大学医学部小児科）

SS1-1. Lennox-Gastaut症候群の診断・治療法
- 結節性硬化症の併発に着目して -

岡西 徹

（鳥取大学医学部脳神経小児科）

共催セミナー2 10:50～11:50

日本メドトロニック株式会社

座長：藤本 礼尚（獨協医科大学病院脳神経外科）

SS2-1. 脳内ネットワークから読み解く、てんかん外科治療のこれから
— 根治から緩和まで 多様化する治療戦略 —

石崎 友崇

（名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科

名古屋大学医学部附属病院てんかんセンター

名古屋大学脳とこころの研究センター）

ランチョンセミナー：「TSC-AMLに対する新たな治療選択 凍結療法について」

12:00～13:00

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

座長：河野 春奈（順天堂大学医学部附属順天堂医院泌尿器科）

LS-1. 凍結療法とTSC学会の役割

波多野 孝史

（聖隷横浜病院泌尿器科）

LS-2. TSC-AML凍結療法の有効性

柏木 英志

（産業医科大学病院泌尿器科）

ファミリー企画 13:30～14:30

座長：小林 敏之（順天堂大学医学部病理・腫瘍学）

FS-1. iPS細胞を用いた腎臓の難病に対する新しい治療薬の開発

長船 健二

（京都大学iPS細胞研究所）

座長：新井田 要（金沢医科大学病院ゲノム医療センター）

水口 雅（東京大学発達医科学）

YM-1. 結節性硬化症におけるSGKシグナルの意義の解明

井上 浩一¹⁾、植木 孝俊²⁾

1) 奈良県立医科大学、2) 名古屋市立大学

YM-2. 包括的トランスクリプトーム解析による結節性硬化症の脳神経病態の解明

宮下 聡¹⁾、田部 直央¹⁾、飯島 圭哉²⁾、高尾 昌樹³⁾、岩崎 真樹²⁾、星野 幹雄⁴⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター神経研究所病態生化学研究部分子機能研究室、

2) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科、

3) 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部、

4) 国立精神・神経医療研究センター神経研究所病態生化学研究部

YM-3. 患者iPS細胞を用いたmTOR系活性亢進による脳形成異常・てんかんの病態解明と核酸治療開発

千代延 友裕¹⁾、宮本 洋輔²⁾、松浦 周²⁾、一瀬 英佑²⁾、戸澤 雄紀²⁾、
長谷川 龍志²⁾、森本 昌史³⁾

1) 京都府立医科大学大学院医学研究科分子診断・治療医学、

2) 京都府立医科大学大学院医学研究科小児科学、

3) 京都府立医科大学看護学科医学講座小児科学

YM-4. 結節性硬化症関連腎血管筋脂肪腫における空間的遺伝子発現解析：TSC 特異的分子病態の解明と診断・治療標的の探索

渡辺 隆太、澤田 貴虎、新井 欧介、大西 智也、西村 謙一、福本 哲也、
三浦 徳宣、宮内 勇貴、菊川 忠彦、雑賀 隆史

(愛媛大学医学部附属病院泌尿器科)

YM-5. 結節性硬化症患者の保護者におけるPNPSを用いた親子関係の評価

藤本 礼尚¹⁾、堀 理沙²⁾、武井 愛²⁾、岡西 徹³⁾

1) 獨協医科大学脳神経外科、2) 結節性硬化症学会ファミリーネット委員会、

3) 鳥取大学脳神経小児科

座長：阿部 裕一（国立成育医療研究センター神経内科）

菅野 秀宣（スガノ脳神経外科クリニック）

O-1. 結節性硬化症の愛知県全域調査

山田 美沙恵¹⁾、夏目 淳^{1,2)}、牧 祐輝¹⁾、石丸 聡一郎³⁾、沼本 真吾⁴⁾、
小林 悟⁵⁾、服部 文子⁶⁾、松川 宜久⁷⁾、若原 恵子⁸⁾、石原 尚子³⁾、
佐々木 ひと美⁹⁾、伊藤 祐史¹⁾、山本 啓之¹⁾、中田 智彦¹⁾、城所 博之¹⁾、
吉川 哲史³⁾、齋藤 伸治¹⁰⁾、奥村 彰久⁴⁾、高橋 義行¹⁾

- 1) 名古屋大学大学院医学系研究科小児科、
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座、
- 3) 藤田医科大学医学部小児科、 4) 愛知医科大学医学部小児科、
- 5) 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター小児科、
- 6) 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター小児科、
- 7) 名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科、
- 8) 名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科、 9) 藤田医科大学医学部泌尿器科、
- 10) 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野

O-2. 結節性硬化症における包括的診療に関する実態調査

松本 佐和子¹⁾、稲垣 夏子¹⁾、桐林 和代¹⁾、董 倅伊¹⁾、波多野 孝史²⁾

- 1) 東京医科大学病院遺伝子診療センター、 2) 聖隷横浜病院泌尿器科

O-3. 両側腎に血管筋脂肪腫とオンコサイトーマ様腫瘍が併存した結節性硬化症の一例

辛島 尚¹⁾、吉村 理愛¹⁾、山本 新九郎²⁾、井上 啓史²⁾、田代 真理³⁾、
井口 みつこ⁴⁾、田村 賢司⁵⁾

- 1) 高知県立あき総合病院泌尿器科、 2) 高知大学医学部泌尿器科、
- 3) 高知大学医学部臨床遺伝診療部、 4) 高知大学医学部病理診断部、
- 5) 社会医療法人駿甲会コミュニティーホスピタル甲賀病院泌尿器科

O-4. 弱毒生ワクチン接種のため、エベロリムスの休薬を3ヶ月間要した結節性硬化症の6歳女児

渡邊 博文、寺嶋 宙

(東京大学医学部附属病院小児科)

O-5. 胎児期に経膈超音波を用いて結節性硬化症の頭蓋内病変を描出した一例

松澤 奈々¹⁾、池野 充²⁾、田中 元基¹⁾、加護 祐久²⁾、瀬山 理恵¹⁾、正岡 駿¹⁾、
熊谷 麻子¹⁾、森田 恵子¹⁾、竹田 純¹⁾、山本 祐華¹⁾

- 1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院産婦人科、
- 2) 順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科

- O-6. 左前頭葉の皮質結節を認めた乳児てんかん性スパズム症候群の一例**
井田 紘人¹⁾、早川 格¹⁾、露崎 悠²⁾、阿部 裕一¹⁾
1) 国立成育医療研究センター神経内科、2) 国立静岡てんかん・神経医療センター小児科
- O-7. 有熱性てんかん重積状態後にMRI異常と一過性運動障害を呈したTSCの1例**
沼本 真吾、西田 みずき、東 慶輝、倉橋 宏和、奥村 彰久
(愛知医科大学小児科)
- O-8. 侵襲的検査が困難であったTSC関連てんかんに対する緩和的切除術：症例報告**
鈴木 皓晴¹⁾、三橋 匠¹⁾、西岡 和輝¹⁾、野村 和希¹⁾、上田 哲也¹⁾、中島 円¹⁾、菅野 秀宣^{1,2)}、飯村 康司¹⁾、近藤 聡英¹⁾
1) 順天堂大学脳神経外科、2) スガノ脳神経外科クリニック
- O-9. 前頭葉起始様所見を呈した結節性硬化症に対する頭頂後頭葉焦点切除を施行した一例**
大森 義範¹⁾、和泉 允基¹⁾、石田 裕樹¹⁾、杉江 藍¹⁾、佐藤 慶史郎¹⁾、沼本 真吾²⁾、藤本 礼尚³⁾
1) 聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター、2) 愛知医科大学小児科、3) 獨協医科大学脳神経外科・てんかんセンター

閉会式
